

情報

交流ひろばと生活情報



グループ訪問のコーナーでは、消費者グループや趣味のグループ、サークル(学校関係除く)なども記事として取り扱います。お気軽に編集部までお問い合わせ下さい。



170人が参集し支部設立90周年を祝う

東京農業大学校友会熊本県支部

東京農業大学校友会熊本県支部(阿曾田清支部長)はこのほど、熊本市の熊本全日空ホテルニュースカイで支部設立90周年記念式典を開催した。当日は来賓や会員170人が参加。阿曾田支部長のあいさつの後、大学OBの蓑茂壽太郎

熊本県立大学理事長(当時)が、「東京農大と熊本」と題して初代学長を務めた熊本出身の横井時敬時代と熊本県支部の関係について、次いで大澤貴寿東京農業大学学長が「東京農大の今後」と題して、それぞれ記念講演を行った。その後、祝賀会に移り大盛況となった。



松村参議院議員を迎え国政報告会

専修松村会

専修大学の県内在住同窓生有志で構成する「専修松村会」(廣野邦彦会長)はこのほど、熊本市の三井ガーデンホテル熊本に、同窓の松村祥史参議院議員を迎え、国政報告会を開催。当日は22人が参加。廣野会長が「松村議員も2期目の政治活動を精力的に頑張っていますので、応援よろしく御願います」とあいさつ。松村議員は「昨年10月参議院の環境委員長に就任し、被災地の復旧・復興に尽力しています」などと近況や今後の国政の見通しを語った。



今年初めての情報交換会

肥後二水会

単身赴任者を中心とした交流会の肥後二水会(事務局・アークホテル熊本内)はこのほど、同ホテルで定例会を開催した。当日は会員12人が参加。事務局を担当しているアークホテル熊本の福岡啓三支配人代行の乾杯の首頭で懇親会に移り、情報交換を重ねた。同会は1999(平成11)年3月発足。現在の会員数は22人。会則や年会費などはない気軽な会として、年に4,5回開催している。



熊本市水の科学館

体験型展示を増やしリニューアル

熊本市水の科学館(熊本市北区八景水谷1丁目、指定管理者・九州総合サービス(株))はこのほど、リニューアルオープンした。同施設は水道や地下水に関心を持ってもらうことを目的に1990(平成2)年に開館した学習施設。老朽化や市町村合併による対象エリア拡大に対応するため昨年11月から工事を行っていた。関係者などが出席した記念式典で、幸山政史市長は「県内外に日本一の地下水都市をアピールする場であり、教育の場としても20年以上親しまれてきた。



八景水谷1丁目にある水の科学館の外観
九州新幹線全線開業や政令市移行に伴い、地下水都市の発信の拠点として水の科学館が果たす役割も高まっていく」とあいさつ。続いてテープカットを行った。改修工事で体験型展示を増やしたほか、新たに下水道に関する展示を設けた。また、空調設備や雨水を館内で利用する中水道システムを更新している。

先日、コミュニケーション講座に参加して下さった方から、こんな感想を頂きました。
「実は、以前、息子が幼稚園に通っている時に、津川先生の講話を聞いたことがあります。その時は、初めての子どもでしたし、気合も入っていましたし、我が子の将来にたくさんの夢を持っていましたので、幼稚園の時から習い事や考え方を押し付けていました。そんな時に先生のお話を聞いたものですから、先生の『子どもの話に耳を傾ける』という言葉聞き流してしまいました。むしろ、『そんな事をしていたら子育てに失敗する』とまで思っていました。けれど、息子が小学校の高学年になった時、今まで私の言いなりに動いていたのに、口もきかなくなり、話をしても結局、言い争いになったりという状況に陥りました。どうして親の気持ちをおかしくしてくれないんだろうか、とイライラしている時に誘いがあり、5年の歳月を経て、再び先生の講座を受講しました。
正直、最初は5年前に感じたように、『そんな事をしていたら子育てに失敗する』のではないかなと思っていました。けれど、騙されたと思って、講座で学んだことをそのまま実行してみたいんです。



コミュニケーションアドバイザー 津川 育子

「気付いたときに学ぶタイミング」

そうしたら、あんなにギスギスしていた子どもとの関係が変わっていききました。
今では、いろんなことを話してくれます。自分の夢や、そのためにどんな勉強をしようかということも話してくれました。息子は、こんなにも自分の未来についてたくさん考えていたのに、私は自分の小さな価値観で、さも『それが一番この子のためなんだ』と言わんばかりに考えを押し付けてしまっていたんだと知りました。
息子が言うんです。「お母さんは僕達の話をきちんと聞いてくれるから話しやすいよ」と。それは当たり前のことであるはずなのに、私は自ら、子ども達が話しかけにくい母親になっていたんだと気付きました」と。
学ぶタイミングはそれぞれです。堅苦しく考えずに、たまった不安などを、話すだけでも解決の糸口が見つかることもあります。
5月より、コミュニケーション研修を開講します。
5月12日、19日、6月2日、9日の土曜日。3時間×4日コース。研修費は10000円です。
詳しくはお電話下さい。

(筆者プロフィール) コミュニケーションアドバイザー。大学卒業後、ニチイ学館近代経営研究所などの勤務を経て、平成10年10月人財育成サポートを設立。22年2月に法人化。子育て、親のコミュニケーションの勉強会、講座を随時開講。熊本県民力レジン主催講座サテライト教室子育て応援講座などの講師も勤めている。県内各地での講演も多数。美里町教育委員。子どもは3人。著書として「愛の小箱」(夫の闘病と家族模様)がある。

シリーズ コミュニケーション講座 魅力ある人間力アップに向けて (第9回)

